

「今年の夏も厳しい暑さが予想される」との気象庁の予報どおり、6月中旬頃から暑い日が続いています。梅雨に入り蒸し暑さも増し、この時期に、スポーツ活動中の事故として最も留意しなければならないのが「熱中症」です。特に、梅雨の合間に突然気温が上昇した日や梅雨明けの蒸し暑い日は要注意となります。

先般、スポーツ庁からの「スポーツ活動における熱中症事故の防止について」を関係団体に送付しましたが、今一度以下の4点に留意され、熱中症事故防止のために適切な措置を講じながら、スポーツ活動を楽しんでいただきたいと思います。



- ①活動の場所や種類にかかわらず、暑さ指数（WBGT）に基づいて活動中止の判断をすること
- ②それほど気温の高くない時期から、体を暑さに徐々に慣らしていくこと
- ③活動前に適切な水分補給を行うとともに、必要に応じて水分・塩分の補給ができる環境を整え、活動中や終了後も適宜補給を行うこと
- ④熱中症の疑いのある症状が見られた場合には、早期に水分・塩分の補給、体温の冷却、病院への搬送等を行うこと

## 第1回総合型地域スポーツクラブ

### 創設・育成研修会を開催しました!



6月7日（金）に、山口県総合保健会館にて、約50名の総合型クラブ関係者や市町担当者の方々の参加のもと、標記研修会が開催されました。

現在、スポーツ界における暴力、暴言、ハラスメント等の不適切行動の根絶に向けたコンプライアンス意識の徹底が求められる中、スポーツ団体には、団体が遵守すべき原則・

規範としてスポーツ庁が策定した「スポーツ団体ガバナンスコード」があります。そして、スポーツ界全体の信頼性を確保するために、その遵守が求められています。

このような中、本年度の研修会は、「信頼されるクラブ運営に必要なガバナンスの重要性」と題して、東洋大学健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科 講師 谷塚 哲先生をお迎えして、講演会を行いました。大変分かりやすい内容で、多くの参加者から、「大変良かった」と評価をいただきました。

主な講演内容を以下のとおり簡単に紹介いたします。



#### 1 スポーツ権とコンプライアンス

- (1) スポーツ基本法により、スポーツをする権利が国、地方公共団体、スポーツ団体から確保されている。
- (2) スポーツ基本法5条には、スポーツ団体は、スポーツを行う者の権利保護に努め、事業を適正に行うためには、運営の透明性を確保し、遵守すべき基準を作成するように定められている。
- (3) スポーツ団体には、助成金がある。そのため、ガバナンスやコンプライアンスは求められる。

わくわく(輪く和く)通信

山口県生涯スポーツ推進センターだより

Vol.56

2024年

7月

スポーツナビ  
WINNER TOTO BIG

## 2 個人情報の取り扱い

- (1) 個人情報の取得には、プライバシーポリシーを作成して公表することが求められる。
- (2) 漏洩の一番の原因は内部管理体制の甘さであるため、研修会や個人情報管理者を選定する必要がある。



## 3 肖像権

- (1) 誰も勝手に写真や映像を撮られない、公表されないプライバシー権がある。必ず許可が必要となる。
- (2) 有名人のその人の名前で人を引きつけることができる。他人が勝手に使えないパブリシティ権がある。

## 4 総合型地域スポーツクラブの法人化

- (1) 組織として、権利義務の主体になることができる。
- (2) 地域の行政関係者の信頼を得ることから、行政との連携の円滑化にも資することができる。
- (3) 会費を納める地域住民の一層の信頼を得られ、クラブの継続性にも寄与することができる。
- (4) クラブが借金を背負った場合、役員等の個人には原則責任はなく、リスクマネジメントにもなる。

## 5 ハラスメント問題

- (1) パワハラ、セクハラ等のハラスメントは、民事責任だけでなく、刑事責任も問われる可能性がある。
- (2) 勝利至上主義がハラスメントの原因の一つになっている。一人の勝者のために無数の敗者を生んでいる。
- (3) スポーツとはラテン語で楽しみや余暇などの意味。楽しくなければスポーツを続けることができない。

## 6 選ばれるスポーツ団体になるために

- (1) 今後スポーツ団体は継続することが求められ、そのためには信頼が必要となる。
- (2) 住民、企業、自治体から「選ばれる団体」になるためには、法人化を含めたガバナンスやコンプライアンスが重要であり、ガバナンスやコンプライアンスがしっかりしていることが信頼につながる。

# 総合型地域スポーツクラブ山口県連絡協議会 総会が終了しました!

第1回創設・育成研修会後、令和6年度総合型地域スポーツクラブ山口県連絡協議会総会が開催されました。以下の議事について審議され、承認されました。



### 第1号議案

令和5年度事業報告及び令和5年度決算報告について

### 第2号議案

令和6年度事業計画（案）及び令和6年度予算（案）について

※役員については、任期が2年のため、本年度は新たな選任は行われず、事務局のみ入れ替わりました。役員の皆様には、総合型地域スポーツクラブ間の交流、連携、情報交換等に中心となって努めていただき、県内の総合型地域スポーツクラブの定着・発展のために、今後ともよろしくお祈りいたします。

### 【役員】

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

会長	境 憲一	くすのき	理 事	高橋 等	県スポ協	小本 輝夫	くだまつ絆星
副会長	藤田 幹	二島		梶田 重樹	東亜	中野 久治	Goppo
副会長	井上 登代子	菊川		井上 雄治	スポカル	菅岡 克則	ゆう
副会長	原田 美智子	IDB		高屋 英人	至誠館	岡 龍一	SA
事務局	柳井 沢郎	県スポ推	監 事	小林 由幸	名田島	田村 隆嘉	今宿

# 地域指導者養成研修会 ACP 普及講習会 (兼:公認スポーツ指導者更新研修会)報告

6月29日(土)、ながと総合体育館(ルネッサながと)において、72人の受講者が、ACPの理論や実技を学びました。本年度は、山口県スポーツ少年団(萩地域)指導者・育成母集団研修会と兼ねて開催したため、約半数の受講者はスポーツ少年団の関係者の方々でしたが、総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の皆様をはじめ、小学校の教員の方にもたくさん参加いただきました。



講師は、東京学芸大学の佐藤善人教授とJSPOスポーツ科学研究室の青野博室長のお二人をお迎えすることができました。

青野先生は、主に子どもの発達特性やより良い指導に繋がるスキル等について、スライドを基に講義されました。そして、ACPのように、楽しく安全に遊ぶことを通して、「身体活動量の確保」「動きの多様化と洗練化」「運動有能感の醸成」が図られ、生涯スポーツの基礎を培うことができるまとめられました。



後半の実技では、佐藤先生から、「集合ゲーム」「進化ジャンケン」「ボール集め」「ムカデドッジボール」など、11種類の運動遊びプログラムの紹介がありました。特に同じ運動プログラムでも、発達段階等に応じて、距離やボールの数、人数等を工夫してアレンジすることで、動きのバリエーションも増え、運動の強度を高めることにつながることを、体験を通して指導されました。



受講者も、20歳代~70歳代と年齢の幅はありましたが、額に汗を流しながら笑顔で体を動かされている姿を見て、とても楽しい運動(遊び)に夢中になっていることが伝わりました。きっと、明日からの指導に役立っていくことと思いました。

## 研修会情報



### クラブマネジメント研修会 兼 アシスタントマネジャー養成講習会

一部の講義のみの受講もOK! お気軽にご参加ください!

期日: 2024年8月24日(土) 8:50~17:45  
25日(日) 9:00~15:45  
15:55~検定試験

場所: 山口県総合保健会館 1階 健康指導室

※アシスタントマネジャー資格取得者については、JSPOマイページからの申し込みが必要なため、申し込みは締め切っております。

総合型地域スポーツクラブ山口県連絡協議会主催



### 総合型地域スポーツクラブ 夏のワークショップ

総合型地域スポーツクラブの運営に関わる情報共有やワークショップを通して、課題解決のヒントを探ろう!

期日: 2024年8月2日(金) 13:30~16:00  
場所: 山口県庁 4階 共用第5会議室

お申込み >>>





# 総合型地域スポーツクラブ 訪問日記

クラブ名	イベント名	訪問日	訪問者
田布施スポーツクラブ	親睦交流大会	7月6日(土)	岡村睦美

今回は、田布施スポーツクラブ親睦交流大会にうかがいました。このイベントは、クラブ会員の交流や他種目の体験、地域住民へのクラブの周知などを目的として行われました。日頃から拠点としているTAIKOスポーツセンター田布施の施設を貸し切り、定期教室の種目である水泳、弓道、サッカー、シニア体力アップ、ラージ卓球、バドミントン、バウンドテニス、ウォーキングが用意されていました。



この日は良すぎるくらいの晴天で、涼むことができる部屋や瞬間冷却パックの用意などの熱中症対策を講じておられました。そのような心配をよそに参加者は暑い中でも元気に体を動かしておられ、日頃から運動されている人は強いなと感心いたしました。休憩中には、参加者同士楽しく会話をされている様子が見られ、たくさんの知り合いに会えることも教室やイベントに参加する楽しみの一つになっているのではないかと感じました。体験で参加し、入会申込書を持ち帰っている方もおられ、このイベントを通して会員の獲得にもつながっていました。



今後のイベントとして、水面を走ったりパン食い競争をしたりと、聞くだけでもおもしろいと思わせる“水上運動会”を企画されているようです。ぜひこのイベントの様子も皆さんに紹介できればと思っています。

## 1 クラブ仲間入りをしました



### NPO 法人レノファ山口市スポーツクラブ(山口市)



NPO法人レノファ山口市スポーツクラブは山口市を拠点とし、硬式テニス、ソフトテニス、フットサル、レディースボクシングなどの定期教室やランニング(走り方)教室、夏祭りなどのイベントを実施しています。この度、約2年半の準備期間を経て、総合型スポーツクラブとなりました。

設立準備委員会には、県スポーツ推進課や山口市スポーツ交流課の担当者も出席し、ご意見をいただきながら設立に向けて進めてきました。総合型クラブをめざす前から行っているサッカー、テニス、ソフトテニスのスクール事業と総合型クラブ部門とのすみ分けを行いながら、総合型クラブ部門には統一した年会費と各教室が定めている参加費を設定することとしました。部活動地域移行についても関心があり、クラブとしてどのような関わりができるか考えているところです。また、市のスポーツフェスタなど、イベントにも積極的に関わっていこうという思いを持たれています。総合型クラブ部門を設けたことで、子どもからシニア、いろいろな志向を持った



方がクラブの会員となっています。これからますます活動が活発になってくるのではないかと楽しみにクラブです。今後の新たな取り組みにも注目していきたいと思っています。

【生涯スポーツ推進センター問い合わせ先】

央部生涯スポーツ推進センター(山口県スポーツ協会)  
TEL 083-933-4697 FAX 083-933-4699



クラブアドバイザーは、スポーツ振興くじ(toto) 助成を受けて活動しています。